

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2(BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bei&bpi(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)はつがの国際保育園	階数	地上2F,地下1階
建設地	大阪府和泉市はつが野五丁目12番	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用地域、防火指定	平均居住人員	200人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	12時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年6月11日
敷地面積	2,775 m ²	作成者	株式会社藤田建築設計事務所
建築面積	1,274 m ²	確認日	2014年6月11日
延床面積	2,078 m ²	確認者	藤田建築設計事務所 友田有



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 化学汚染物質を含まない建材を採用します。地球温暖化にも配慮しています。子どもへの安全性と快適性を第一に考えた設計プランとしています。	その他 特にありません。	
Q1 室内環境 適切な昼光率を確保します。また、使用建材については建築基準法規制対象外の材料を選定します。ビル内は禁煙とします。	Q2 サービス性能 主要な配管は耐久年数の高いものを選定します。それによりメンテナンスの軽減を図ります。	Q3 室外環境(敷地内) 特にありません。
LR1 エネルギー 特にありません。	LR2 資源・マテリアル 断熱材にノンフロンを使用し、内装仕上では化学物質を含まない建材を多く選定します。	LR3 敷地外環境 外に漏れる光および屋外照明の軽減を行う配慮をします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)はつがの国際保育園		
	建設地	大阪府和泉市はつが野五丁目12番		
	用途/区分	学校		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-
	CO2削減			5
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	5.0	5	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0	3
			住戸・宿泊	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.6	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項	化学汚染物質を含まない建材を多く使用することで、子どもへの安全性と快適性を第一に考えた設計としています。適切な昼光率を確保します。また、使用建材については建築基準法規制対象外の材料を選定します。ビル内は禁煙とします。主要な配管は耐久性の高いものを選定します、それによりメンテナンスの軽減を図ります。断熱材にノンフロンを使用し、内装仕上げでは化学物質を含まない建材を多く選定します。外に漏れる光お			